

敬老会

今年度も九月の敬老の日、山田学区の敬老会を開催いたしました。

山田学区敬老会の対象となる七〇歳以上の方は一七四九名ですが、このうち三百五十二名が出席されました。アトラクションでは、保育園や幼稚園のかわいいお孫さんたちの演技に目を細め、拍手をおくっていました。学区内の団体の演技を楽しんだり、一緒に歌ったり楽しいひと時を過ごしていただきました。また、久しぶりに会う同級生や友達との楽しい会話に花が咲きました。



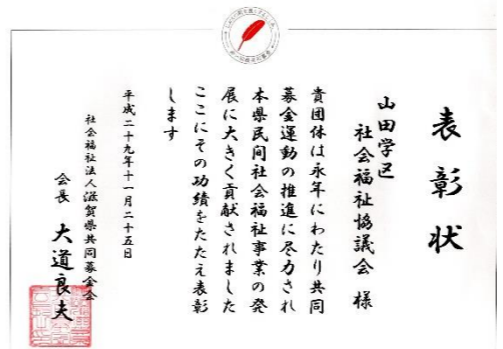
敬老会の実施は、あらゆる学区内の団体の協力のもと、皆で実施する重要な活動であり、敬老会出席者はもちろん、各団体間での絆の増進や互いの理解を得る大切な機会でもありました。来年度以降は各町内会で開催されます。

賛助会員紹介

今年も草津市社会福祉協議会賛助会員への募集をさせていただきます。山田学区では、一九社名の皆様からご協力をいただきました。この会費は草津市社会福祉協議会の活動に有効に活用させていただきます。

- （一）山田学区の賛助会員のみなさまをご紹介します。厚くお礼申し上げます（敬称略・順不同）
- （株）アヤシロ
- （株）ナカイテクノ
- （有）横江製作所
- 相撲ちゃんこ 大岳
- （株）光真製作所
- （株）中嶋歯車工業所
- 藤田工務店（株）
- 福盛教材
- 浜口商店
- オートカム
- ワークパートナー
- さくらら 北山田
- 中野製薬製造（株）
- 園田瓦店
- えんゆづの郷

- （株）久泉エンジニアリング
- （有）馬場自動車
- （有）馬場工務店
- 堀井歯科医院
- （株）テクノオーミ
- 膳所木材工業（株）
- 山一産業（株）
- （有）久保水道
- 西本電気工事（株）
- （有）馬場建設
- 平井自動車工業（株）
- 佐山水道工業（株）
- 木村 正昭
- ENGSHINKAI
- 岡田茂吉研究所
- 木川宮農組合組合長 古川孝夫



表彰状

山田学区 社会福祉協議会様
貴団体は永年にわたり共同奉仕運動の推進に尽力され、本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献されました。ここにその功績をたたえ表彰します。
平成二十九年十二月二十五日
社会福祉法人 深谷県共同奉仕会
会長 大道良夫

編集後記

上の図のように県の共同募金会から、山田学区学区社協が表彰されました。これも学区の皆様のお力のおかげと感謝しております。

今年度は山田学区社会福祉協議会が活動を始めて六十年となりました。この長い年月学区の皆様が、地域福祉の向上を目指して活動されてきた歴史の重みを、ひしひと感じられるところです。

最近、人々の生活や考え方が多様化し、そのひとり一人の考え方や要望に対応しなければならぬ時代となっています。

こんな背景から、学区社協でも、医療福祉を考える会議とか、地域支え合い送迎支援事業等、新しい活動をはじめています。いずれも手探り状況での活動ですが、いままでよりも、学区の皆様と、背伸びをしないで、地に足の着いた活動をつづけていきます。

山田学区 社協だより

第 70 号

区協議会
山田福祉協
会

県外人権研修

同和問題をはじめ、あらゆる人権問題を一日も早く解決することは、今を生きる私たちの願いです。自らの人権意識を高め、あらゆる差別の根絶をめざして学習を重ね、今後の活動に役立てようとするものです。

もう一つは、平和とは何か、ただ戦争でない状態のことを平和と言うのでしょうか。特にアフリカでの飢餓の状態、環境問題などへと発展させ、こんなことをもみんなが考えましようと呼びかけています。

ここで参加者の感想文を紹介いたします。

☆ 戦争と平和。戦争を見てきた人、戦争を知らない人、戦争を見てきた者にとっては、なつかしい場面多くあります。戦争時の思想、若人は国のため命をかけた時代、戦後の平和に暮らしているものには考えられないと思います。やはり平和の世の中を保たなければなりません。

☆ 文系の大学生の学徒出陣（一九四三）があったこと、約千名出兵され、三〇%ほどが戦死されたなど、具体的な話を聞いておどろきました。勉強になりました。慰安婦は日本人もいたということは、学校でもテレビでも伝えないことを今回知り、このミュージアムを通じて学ぶことは、いいと思った。

は絶対行ってはならない。日本でも憲法九条の改正等が話題となっているが、国民の願いを勘案していただきたいと願う。☆ 本日の研修はよかったです。子ども（幼小）の頃を思い出しました。案内人にお話を聞き、時間不足でもっと見たかったです。

☆ 平和であることの幸せをかみしめました。若くして戦争に召され、戦死された本人の無念さ、家族の無念さが身に沁みました。☆ 展示物が多く、ガイドさんが丁寧に説明してくださったので、地下のみの見学で時間が足りなかった。☆ 国際平和ミュージアムの研



修に参加し、平和を保つことは範囲が広いと知りました。もめごとを起こさないように気を付けたいと思いました。☆ 本日の研修に当たり、家庭および町内で話す機会があれば話したい。また、子ども会にも話をしたいと思う。広島市の平和記念公園、資料館に以前に行ったとき、「なみだ」を流した事を思い出します。研修には適する場所と思う。



山田学区の医療福祉を考える会議

医療福祉を考える会議は、学区社協をはじめとした地域の代表と、医師会、ケアマネジャー、訪問介護事業者代表、福祉関係行政担当者、市社協と地域包括支援センターなどの専門職が一堂に会し、地域の高齢者の問題について話し合おうという会議です。当学区では、平成25年度から始め、今年で5年目を迎えました。



これまでの会議の振り返り

- 「助けて」が言いやすく、「助けて」を受け止められる地域に
～制度を通して考える助け合い～
災害時要援護者登録制度をもとに、日頃のつながりが災害時におおきな力を発揮することを感じました。
- 地域の社会資源を知る
ケアマネジャー、訪問看護や訪問介護の仕事や制度を学びました。
- こんなときどうする？
学区の隠れている事例で、認知症、アルコール依存症、車の運転をキーワードとして話し合いました。
- 高齢者が安心して暮らすためのアイテムづくり
- 聞いてほしい、私たちの活動～社会福祉協議会とは～
- 10年後こんな生活をしていきたいな・あったらいいな
2025年には、団塊の世代と言われる皆さんが全員後期高齢者を迎える年といわれています。地域や専門職の皆さんはどのような地域になっているのでしょうか。



これまでの会議の成果

- 高齢者を支える各種機関や各種専門職の役割が理解できた。
- 地域と専門職との顔が繋がった。
- 学区内の高齢者が抱える問題の事例を話し合った。
- 資源マップや認知症ケアパスを作成し、学区内のサービスや活動をまとめた。



医療福祉を考える会議のようす▲



話し合う活動の例

支え合い送迎事業

利用はあらかじめ、学区社協の承認を受けていただくことが必要です。また、ガソリン代として1kmあたり7円、有料道路通行料、駐車料を負担いただきます。1人が月当たり3回以内で利用できます。あくまで住民同士の支え合いなので、無理のない活動を心がけています。

- ★タクシー感覚で、電話をすれば迎えに行くことは出来ません。
- ★車への乗り降りは、自分の力で。運転手は介助の知識はないので、乗降のお手伝いはできません。
- ★買ってこられた物を車に積んだり下ろしたりのお手伝いはしますが、売り場までの同行はいたしません。

生活支援ボランティア V・ハナミズキ

日常生活に不便を感じておられる高齢者や、高齢者所帯で病気や怪我でお困りの方に対して「困った時はお互いさま」という精神のもと、資格を必要としない「ちょっとした」支援で、地域住民がお互いに助け合うことを目的に活動しています。依頼者にも出来ることは、一緒に働いてもらうことを心がけています。

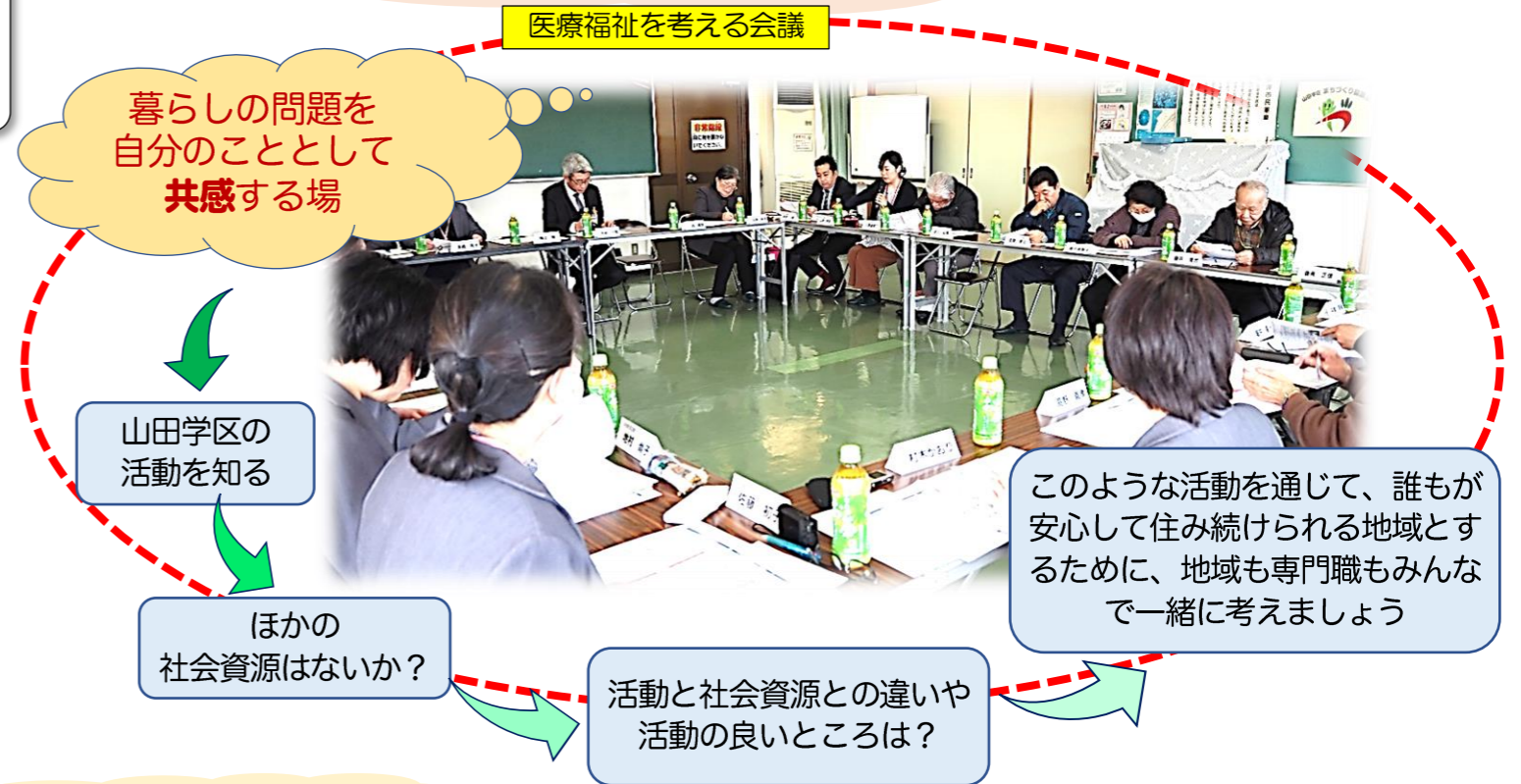


これからの会議の取り組み

第11回 H29.12.7

〇これまでの会議で話した高齢者の暮らしの内容をふまえて・・・

今ある山田学区の高齢者を支える活動を考えよう



出てきた意見

- 年寄りが年寄りらしく生きていける地域にしたいな。
- 地域だけじゃなくて、専門機関とかも一緒になって問題を考えて欲しいな。
- 送迎支援が「サービスでなく、地域の支え合い活動」という思いを初めて知った。

これから新たにたくさんの人と一緒に、山田の大切な活動を考えていきたいと思ひます